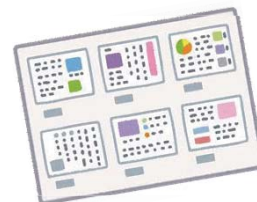


生徒の変容を見取る 評価規準を設定する



ポイント ① 資質・能力を踏まえた単元の目標と評価規準を作成する

単元の目標と評価規準を作成する際は、生徒の実態や地域の特性を生かした上で、新学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）に示されている内容と、以下に示すポイントに沿って設定します。

単元の目標		
単元の目標は、次の4つの要素を構造的に配列して作成 <ul style="list-style-type: none"> ・探究課題を踏まえた単元において中心となる学習対象や学習活動（～を通して） ・単元において重視する「知識及び技能」（～について理解し） ・単元において重視する「思考力、判断力、表現力等」（～を考える） ・単元において重視する「学びに向かう力、人間性等」（～に生かす） 		
単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①概念的な知識の獲得 ②いつでも、滑らかに、安定して、素早く発揮することが可能な技能の獲得 ③探究的な学習のよさの理解 ※文末表現は「～について理解している」、「～を身に付けている」などとして設定します。	④課題設定 ⑤情報の収集 ⑥整理・分析 ⑦まとめ・表現 探究的な学習の過程で育成される資質・能力を生徒の姿として示す。 ※文末表現は「～している」として設定します。	⑧自他を尊重する自己理解・他者理解 ⑨自ら取り組んだり力を合わせたりする主体性・協働性 ⑩未来に向かって継続的に社会に関わろうとする将来展望・社会参画 ※文末表現は「～しようとしている」として設定します。

ポイント ② 内容のまとめりごとに、指導と評価の計画を作成する

設定した内容のまとめりを基に、小单元ごとに指導と評価の計画を作成します。以下のような形式で示すことがポイントです。

小单元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1. ○○について知る（3）	・「○○」の活動を…			⑨	・発言内容
2. △△についての… （8）	・△△の特徴を整理し… ・体験学習から得た…	③	⑥		・発言内容 ・ワークシート

ポイント①で示す単元の評価規準の番号とリンクします

ポイント ③ 生徒の変容や新たな課題を、探究的な過程から見取る

探究的な学習に協働して取り組む中で、継続的に自らの問いや学びの意義を見だし、課題解決に取り組もうとする態度に現れてくると考えることができます。それを見取るために、ワークシートを工夫し、ポートフォリオ形式や、毎時間の感想に継続性をもたせることなどが考えられます。さらに、協働学習などの場面における生徒の発言からも思考の変容を見取ることが可能となります。

また、評価を観点ごと総括することも重要です。活動や学習の過程、作品や成果物、発表や討論などに見られる学習の状況や成果などについて、生徒のよい点、学習に対する意欲や態度、進歩の状況などを踏まえて評価結果を総括します。適切に判断することにより、確かな評価となります。

2学年

「地域の一員として 将来の生き方を考える」

総合的な学習の時間実践事例

単元：地域の発展に向けて取り組む人々
地域の特質や生徒の発達段階を踏まえて、生徒の探究課題（問い）を引き出す。

単元の目標

ポイント 1

職場体験等を通して、地域や働くこと、職業についての知識・理解を深め、自ら課題を見つけ主体的に判断し、考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

評価規準

ポイント 1 と学校目標に沿って表現する。一文でなくともよい。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の人のころ柿作りへの思いについて理解している。 ②地域の人と分かりやすい話し方をしたり、情報交換をしたりし、適切な関わりについて理解している。 ③地域の職業について調べることを通して、その地域で探究的に学んだ成果を身に付けている。	④解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を考えている。 ⑤目的に応じて手段を選択し、適切な方法で情報を収集し蓄積している。 ⑥調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ⑦問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見つけている。	⑧探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 ⑨自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。

ポイント 1 に示してある①～⑩に沿った形で設定する上で、文末表現も意識する。 **チェック**

指導と評価の計画（一部省略）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1.ころ柿職場体験学習について知る（3）	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習の意義と概要を知る。 地域の特産である「ころ柿」について主体的に学習する。 	①			<ul style="list-style-type: none"> 発言 ワークシート
2.目標・課題解決に向けた研究計画を立てる（2）	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習の目標・課題を立てる。 職場体験学習の目標・課題を解決するために研究計画を立てる。 		④	⑨	<ul style="list-style-type: none"> 発言 ワークシート
3.研究計画に基づく調べ学習をする（5）	<ul style="list-style-type: none"> 「ころ柿」について学習することにより、地域について知るとともに将来について考える。 職場体験学習に向けての事前学習をする。 		⑤		<ul style="list-style-type: none"> ワークシート スライド

ポイント 2

評価のポイント

ウェビングマップを利用し自分の研究テーマを決めよう

生徒が作成したウェビングマップ



評価

授業の導入部分では、中央付近にあるようなキーワードがどの生徒も多かった。ウェビングマップを利用し、それらのキーワードについて思考を深めていく中で、疑問が生まれ、自ら調べてみたい研究テーマを設定することができた。

ポイント 3

重要! 探究的な学習の過程において、ウェビングマップを用いることで、生徒の学びの変容を見取ることもできる。

